



つくば市立栄小学校

# さかえ小 ニュースレター

No.52

R8.1.16

One for all, all for one. ～一人はみんなのために みんなは一人のために～ 〔児童数〕 293 名

## 学校教育目標:認め合い、学び合い、自分で考え行動する児童の育成

## 学力の定着を図るため ～県学力診断のためのテスト～

15日(木)と16日(金)の2日間、4年生から6年生の子供たちが、県学力診断のためのテストに挑戦しました。テストでは、国語と算数、理科、社会の4教科について、それぞれ過去1年間に学習した内容が出題されました。各教室では、誰もが真剣な表情で問題に向き合い、終わりの合図があるまで一生懸命に取り組んでいました。

このテストのねらいとして、児童一人一人、そして授業者である教師が学力の実態を把握し、補充学習や指導方法等の改善を通して、学力の定着を図ることがあげられます。できたことには自信をもち、まだできなかった問題は改めて再確認しながら、定着を図っていききたいと思います。



## 間近で観る演技に大満足！ ～6年ミュージカル観劇～

14日(水)、6年生が市民ホールくさざきで劇団四季によるミュージカル「カモメに飛ぶことを教えた猫」を観劇してきました。この行事は、劇団四季が「こころの劇場」と題し、日本全国の各行政等と連携しながら、小学生を無料で劇場に招待し、演劇の感動を届けるプロジェクトです。参加した6年生は、間近で迫力ある、また美しい演技を観ることができ、大満足の日でした。

## ええところ ～1年道徳～

16日(金)、1年生が道徳で資料文にある主人公の心の動きをもとに、「自分や友達のいいところ」について意見を伝え合っていました。たくさんの児童が発表したり、友達の意見をうなずいて聞いたり、互いを認め合う優しい雰囲気が教室に広がっていました。この春には2年生に進級します。心も体も立派に成長しています。



## よりよい栄小に向けて ～教職員プロジェクト委員会～

今年度も残り2か月半となりました。学校では、教職員によるプロジェクトとして、今年度の教育活動の反省とともに、令和8年度の教育計画の検討を進めています。学校行事計画のほか、学校運営に関わる様々な内容について検討しています。次年度は、さくら小の開校に伴い、児童数の減少の他にも変化の多い年になることが予想されます。社会の変化に柔軟に対応しながら、「夢に向かって 生き生きと輝き 活力ある学校」を目指していきます。